

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2020-63096

(P2020-63096A)

(43) 公開日 令和2年4月23日 (2020.4.23)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
B 6 5 D 5/44 (2006.01)	B 6 5 D 5/44 S	3 E 0 6 0
B 6 5 D 5/38 (2006.01)	B 6 5 D 5/38 E	

審査請求 有 請求項の数 5 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2019-182103 (P2019-182103) (22) 出願日 令和1年10月2日 (2019.10.2) (31) 優先権主張番号 201821667304.3 (32) 優先日 平成30年10月15日 (2018.10.15) (33) 優先権主張国・地域又は機関 中国 (CN)	(71) 出願人 519357394 東莞大普美印刷有限公司 DONGGUAN TAPUMEI PR INTING CO., LTD. 中国広東省東莞市長安鎮霄辺普美路2号 No. 2, Pumei Rd., Xiao Bian Village, Chang An Town, Dongguan C ity, Guang Dong, Chin a (74) 代理人 110002262 TRY 国際特許業務法人 (72) 発明者 白 軒豪 台湾台中市南屯區龍富16街93號 Fターム (参考) 3E060 AA03 BA23 BC02 BC04 CG24 DA15 EA13
---	--

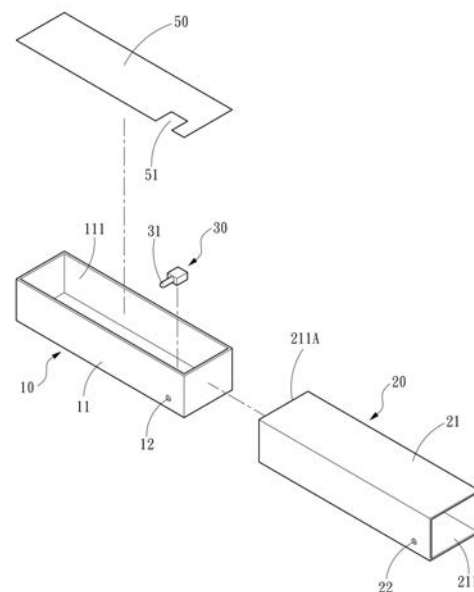
(54) 【発明の名称】 ロック構造を有するカートン

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 カートンの任意の開放により子供がその内容物を誤食することを防止する。

【解決手段】 インナーケース10はインナーケース本体を有し、アウターカバー20はアウターカバー本体を有し、アウターカバー本体は開口部を有し、且つ、アウターカバー本体はインナーケース本体に対してスライドすることでインナーケース本体を完全に被覆する閉鎖位置を有し、弾性ロック部材30は変位部を有し、アウターカバー本体及びインナーケース本体にはそれぞれ対応するアウターカバー本体開孔部及びインナーケース本体開孔部を有し、且つ、アウターカバー本体が閉鎖位置に位置する時、変位部はアウターカバー本体開孔部及びインナーケース本体開孔部を通すロック位置、及びこれらを通さない引込み位置を有する。変位部によってアウターカバー本体をロックすることにより、カートンの子供安全保障用ロックを形成し、子供が任意にカートンを開放させることは避けられる。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ロック構造を有するカートンであって、

軸方向に延在するインナーケース本体を有する、インナーケースと、

前記インナーケース本体を被覆するアウターカバー本体を有し、前記アウターカバー本体は前記インナーケース本体をスライドしてそれに入れるための開口部を有し、且つ、前記アウターカバー本体は前記インナーケース本体に対してスライドすることで前記インナーケース本体を完全に被覆する閉鎖位置を有する、アウターカバーと、

変位部を有し、前記インナーケース本体内に固定され、前記アウターカバー本体及び前記インナーケース本体にはそれぞれ対応するアウターカバー本体開孔部及びインナーケース本体開孔部を有し、且つ、前記アウターカバー本体が前記閉鎖位置に位置する時、前記変位部は前記アウターカバー本体開孔部及び前記インナーケース本体開孔部を通すロック位置、及び前記アウターカバー本体開孔部又は前記インナーケース本体開孔部を通さない引込み位置を有する、弾性ロック部材とを含むことを特徴とするロック構造を有するカートン。

10

【請求項 2】

前記変位部、前記アウターカバー本体開孔部及び前記インナーケース本体開孔部はそれぞれ 2 つ設けられ、且つ、前記弾性ロック部材は湾曲可能な U 字状のシート部材であり、前記 U 字状のシート部材の両端はそれぞれ前記変位部から延在し、前記 U 字状のシート部材の前記変位部から遠ざかる一端は前記インナーケース本体内に固定され、且つ、前記 2 つのアウターカバー本体開孔部及び前記 2 つのインナーケース本体開孔部は前記アウターカバー本体及び前記インナーケース本体の両側にそれぞれ配置されることを特徴とする請求項 1 に記載のロック構造を有するカートン。

20

【請求項 3】

前記弾性ロック部材は角状フレームを有し、前記角状フレームは前記インナーケース本体の底部に設けられ、且つ、前記角状フレームの前後両側が前記インナーケース本体の壁面に受け止められ、前記角状フレームには複数回湾曲させて形成された S 字状のロッドが設けられ、前記 S 字状のロッドの末端に前記変位部が設けられ、且つ、前記アウターカバー本体開孔部及び前記インナーケース本体開孔部はそれぞれ前記変位部に対応して前記アウターカバー本体及び前記インナーケース本体の同一側に配置されることを特徴とする請求項 1 に記載のロック構造を有するカートン。

30

【請求項 4】

前記角状フレームの側面に 2 つの固定柱を有し、前記 2 つの固定柱は前記インナーケース本体の縁部を受け止めるために用いられることを特徴とする請求項 3 に記載のロック構造を有するカートン。

【請求項 5】

前記インナーケース本体はサンドイッチパッドを有し、前記サンドイッチパッドは前記角状フレームを収容する溝部を有することを特徴とする請求項 3 に記載のロック構造を有するカートン。

【発明の詳細な説明】

40

【技術分野】

【0001】

本発明は、カートンに係り、詳しく言えば、カートンの子供安全保障構造に関する。

【背景技術】

【0002】

カートンは、環境に優しい、環境汚染を引き起こさない、リサイクルできる、品質が高い、湿気を吸収できる等の特徴を有し、タバコ等の製品の包装と保存のためによく利用される。米国登録特許第 5707004 号「CARTON WITH OFFSET LOCK」及び米国登録特許第 US7959060B2 号「Multiply carton having reclosable opening feature」は、タバ

50

コ、食物等の物品を保存するために利用できる、構造が異なる２種のカートンを開示している。

【０００３】

この２種の従来のカートン構造においては、カートンを繰り返し使用できるように、カートンを開閉させる蓋がそれぞれ設けられており、それぞれが蓋に係止するためのラッチ構造を有し、これによって重力又は慣性力により蓋が任意に開放されることは避けられる。前記ラッチ構造は、蓋を固定することが目的で設けられる部品であり、ラッチを離脱させて係止を解除する方向は、蓋を開放させる方向と同じであるため、子供が、特に幼児が大きな力を加えれば蓋を開放させることができ、子供が任意にカートンを開放させることは防止できない。言い換えれば、保護者の注意が及ばないところ、子供はカートンを任意に開放させることができる。カートン内に子供が接触すべきではない物品、例えばタバコが保管されている場合、子供がカートンの内容物を誤食するリスクがある。

10

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【０００４】

本発明の主な目的は、カートンの子供安全保障用ロック構造を提供することであり、これによって子供が任意にカートンを開放させることを防止し、子供がカートンの内容物を誤食するリスクを避けることができる。

【課題を解決するための手段】

【０００５】

本発明は上記目的を達成するためになされるものであり、ロック構造を有するカートンを提供し、当該ロック構造はインナーケースと、アウターカバーと、弾性ロック部材とを含み、ただし、当該インナーケースは軸方向に延在するインナーケース本体を有し、当該アウターカバーは当該インナーケース本体を被覆するアウターカバー本体を有し、当該アウターカバー本体は当該インナーケース本体をスライドしてそれに入れるための開口部を有し、且つ、当該アウターカバー本体は当該インナーケース本体に対してスライドすることで当該インナーケース本体を完全に被覆する閉鎖位置を有し、当該弾性ロック部材は変位部を有し、当該弾性ロック部材は当該インナーケース本体内に固定され、当該アウターカバー本体及び当該インナーケース本体にはそれぞれ対応するアウターカバー本体開孔部及びインナーケース本体開孔部を有し、且つ、当該アウターカバー本体が当該閉鎖位置に位置する時、当該変位部は当該アウターカバー本体開孔部及び当該インナーケース本体開孔部を通すロック位置、及び当該アウターカバー本体開孔部又は当該インナーケース本体開孔部を通さない引込み位置を有する。

20

30

【発明の効果】

【０００６】

これにより、本発明に係るロック構造を有するカートンは、当該変位部が当該アウターカバー本体開孔部及び当該インナーケース本体開孔部を通して当該アウターカバー本体をロックすることにより、カートンの子供安全保障用ロックを形成し、子供がカートンを任意に開放させることは避けられ、成人の使用者がカートンを開放させたい場合、当該変位部を内側に押して、当該変位部を当該引込み位置に引っ込めさせればアンロックすることができ、当該アウターカバー本体を当該インナーケース本体に対してスライドさせてカートンを開放させることができる。

40

【図面の簡単な説明】

【０００７】

【図１】図１は、本発明の実施例１に係るカートンの構造の分解図である。

【図２】図２は、本発明の実施例１に係るカートンの構造の組み合わせた状態下の断面図である。

【図３】図３は、本発明の実施例１に係るカートンのアンロックを概略的に示す図である。

【図４】図４は、本発明の実施例２に係るカートンの構造の分解図である。

50

【図 5】図 5 は、本発明の実施例 3 に係るカートンの構造の分解図である。

【図 6】図 6 は、本発明の実施例 4 に係るカートンの構造の分解図である。

【図 7】図 7 は、本発明の実施例 5 に係るカートンの構造の分解図である。

【図 8】図 8 は、本発明の実施例 6 に係るカートンの構造の分解図である。

【発明を実施するための形態】

【0008】

以下、本発明の詳細及技術内容を、図面を参照して説明する。

図 1、図 2 及び図 3 が参照されるように、実施例 1 において、ロック構造を有するカートンを提供し、当該カートンはインナーケース 10 と、アウターカバー 20 と、弾性ロック部材 30 とを含み、ただし、インナーケース 10 は軸方向に延在するインナーケース本体 11 を有し、インナーケース本体 11 は長方体とすることができ、且つ、インナーケース本体 11 は上向きに設けられる取出口 111 を有し、使用者はインナーケース本体 11 内に物品を保管することができる。

10

【0009】

アウターカバー 20 はインナーケース本体 11 を被覆するアウターカバー本体 21 を有し、アウターカバー本体 21 はインナーケース本体 11 をスライドしてそれに入れるための開口部 211 を有し、且つ、アウターカバー本体 21 はインナーケース本体 11 に対してスライドすることでインナーケース本体 11 を完全に被覆する閉鎖位置を有する。操作の多様性と利便性の向上の観点から、もう 1 つの開口部 211A をさらに有してもよく、且つ、2 つの開口部 211、211A はアウターカバー 20 の両側にそれぞれ配置され、これによって使用者はいずれか一方からインナーケース本体 11 を押せば、インナーケース本体 11 をアウターカバー本体 21 に対して移動させて離脱させることができる。

20

【0010】

弾性ロック部材 30 は変位部 31 を有し、弾性ロック部材 30 はインナーケース本体 11 内に固定され、アウターカバー本体 21 及びインナーケース本体 11 にはそれぞれ対応するアウターカバー本体開孔部 22 及びインナーケース本体開孔部 12 を有し、且つ、アウターカバー本体 21 が当該閉鎖位置に位置する時、変位部 31 はアウターカバー本体開孔部 22 及びインナーケース本体開孔部 12 を通すロック位置（図 2 参照）、及びアウターカバー本体開孔部 22 又はインナーケース本体開孔部 12 を通さない引込み位置（図 3 参照）を有する。また、弾性ロック部材 30 の脱落と変位を避けるために、本発明は相当の厚さを有する補助固定板 50 をさらに含んでもよく、補助固定板 50 はインナーケース本体 11 内に固定され、且つ、弾性ロック部材 30 を受け止める切込み部 51 を有し、これによって切込み部 51 により弾性ロック部材 30 の位置を決定することができる。

30

【0011】

本発明の実施に際し、弾性ロック部材 30 は固定部 32 及びばね 33 をさらに含んでもよく、変位部 31 は変位して固定部 32 内に貫通することができ、変位部 31 は固定部 32 内に係止されるフランジ部 311 を有し、ばね 33 は固定部 32 内に設けられ、変位部 31 を外側に押して当該ロック位置に移動させる。また、アウターカバー本体開孔部 22 及びインナーケース本体開孔部 12 はアウターカバー本体 21 及びインナーケース本体 11 の側面にそれぞれ配置されてもよい。

40

【0012】

特に、図 3 が参照されるように、変位部 31 がアウターカバー本体開孔部 22 及びインナーケース本体開孔部 12 を通ってアウターカバー本体 21 をロックすると、カートンの子供安全保障用ロックは動作状態になり、子供はカートンを容易に開放させることができなくなる（図 2 参照）。子供安全保障用ロックをアンロックさせたい場合、使用者は変位部 31 を手 40 で押せば、変位部 31 が当該引込み位置に引っ込められ、そして変位部 31 はアウターカバー本体開孔部 22 を通らなくなる、すなわちアウターカバー本体 21 をロックしなくなり、使用者はインナーケース本体 11 を押してアウターカバー本体 21 に対して移動させることにより、インナーケース本体 11 の取出口 111 を開放させることができる。

50

【0013】

実施例1に係るカートンにおいて、弾性ロック部材30がばね33によって変位部31を押し進めることにより、変位部31は直線的な変位経路を有し、これによってアウターカバー本体開孔部22、インナーケース本体開孔部12に必要とされるスペースが減少し、インナーケース10及びアウターカバー20の構造の完全性を最大限に保持することができ、子供が大きな力を加える場合でも、インナーケース10及びアウターカバー20はそれに対抗することができる。

【0014】

図4が参照されるように、本発明の実施例2に係るカートンが示される。図4に示すように、もう1つの変位部31Aを有するもう1つの弾性ロック部材30Aと、もう1つのアウターカバー本体開孔部22Aと、もう1つのインナーケース本体開孔部12Aとをさらに含み、且つ、2つのアウターカバー本体開孔部22、22A及び2つのインナーケース本体開孔部12、12Aはアウターカバー本体21及びインナーケース本体11の斜めに対向する両側にそれぞれ設けられ、2つの弾性ロック部材30、30Aは2つのアウターカバー本体開孔部22、22A及び2つのインナーケース本体開孔部12、12Aの位置に対応してそれぞれ設けられ、これによって2セットの子供安全保障用ロックが形成され、使用者はアンロックするのに2つの弾性ロック部材30、30Aの変位部31、31Aを同時に手で押さなければならず、子供が任意にカートンを開放させることは防止され、また、2つの弾性ロック部材30、30Aはインナーケース本体11の異なる側に配置されてもよく、これによってカートンを開放させる操作はより難しくなり、子供がカートンを開放できなくなることはより一層保証される。

【0015】

図5が参照されるように、本発明の実施例3に係るカートンが示される。図5に示すように、弾性ロック部材30は湾曲可能なシート部材34とすることができ、シート部材34の一端は固定端341であり、固定端341はインナーケース本体11内に固定され、シート部材34の固定端341から遠ざかる他端に変位部31が設けられ、且つ、アウターカバー本体開孔部22及びインナーケース本体開孔部12はアウターカバー本体21及びインナーケース本体11の底部にそれぞれ配置されてもよく、シート部材34自体が弾性を有するため、使用者は変位部31を押すと、シート部材34が湾曲し、変位部31が当該引込み位置に引っ込められ、シート部材34は薄型化された設計であるため、大量のスペースを使用する必要がない。

【0016】

図6が参照されるように、本発明の実施例4に係るカートンが示される。図6に示すように、もう1つの変位部31Aと、もう1つのアウターカバー本体開孔部22Aと、もう1つのインナーケース本体開孔部12Aとをさらに含み、且つ、弾性ロック部材30は湾曲可能なU字状のシート部材35であり、U字状のシート部材35の両端はそれぞれ、第一端351及び分離して配列される2つの第二端352、352Aであり、2つの第二端352、352Aからそれぞれ変位部31、31Aが延在し、第一端351はインナーケース本体11内に固定される。また、2つのアウターカバー本体開孔部22、22A及び2つのインナーケース本体開孔部12、12Aはアウターカバー本体21及びインナーケース本体11の両側にそれぞれ配置されてもよく、前記実施例と同じように、U字状のシート部材35自体が弾性を有するため、使用者は変位部31を押すと、U字状のシート部材35が湾曲し、変位部31、31Aは当該引込み位置に引っ込められ、またU字状のシート部材35も薄型化された設計であるため、大量のスペースを使用する必要がない。

【0017】

図7が参照されるように、本発明の実施例5に係るカートンが示される。図7に示すように、弾性ロック部材30は角状フレーム36を有してもよく、角状フレーム36はインナーケース本体11の内壁に受け止められるようにインナーケース本体11の底部に設けられ、また、角状フレーム36を容易に位置決めできるように、角状フレーム36は外側に延在する2つの固定柱361、361Aを有してもよく、2つの固定柱361、361

Aをインナーケース本体11の内壁に受け止めることで、角状フレーム36の位置を迅速に決定することができる。

【0018】

角状フレーム36には、複数回湾曲させて形成されたS字状のロッド37が設けられ、S字状のロッド37の末端に変位部31が設けられ、且つ、アウターカバー本体開孔部22及びインナーケース本体開孔部12はそれぞれ変位部31に対応してアウターカバー本体21及びインナーケース本体11の同一側に配置されてもよく、複数回湾曲させて形成されたS字状のロッド37が弾性を有するため、使用者は変位部31を押すと、S字状のロッド37が収縮し、変位部31が当該引込み位置に引っ込められる。また、使用上の快適性の向上の観点から、S字状のロッド37の末端（即ち変位部31）は円弧状とすることができ、これによって使用者が不愉快な感覚を覚えることは避けられる。また、実施例4と同じように、もう1セットの弾性ロック部材30Aを設けて、2セットの子供安全保障用ロックを形成してもよく、これによって子供が任意にカートンを開放させることは防止される。

10

【0019】

図8が参照されるように、本発明の実施例6に係るカートンが示される。実施例6は構造的に実施例5と類似する。主な相違点としては、インナーケース10及びアウターカバー20の寸法が変更されること、及び弾性ロック部材30を設ける方式とそのスタイルが異なることがある。

【0020】

20

弾性ロック部材30は同じ角状フレーム36であり、且つ、角状フレーム36の側面から補強フレーム38が延在し、補強フレーム38は構造強度を上げるための補強材381を複数有してもよい。インナーケース本体11はサンドイッチパッド112を有し、サンドイッチパッド112は角状フレーム36及び補強フレーム38を収容する溝部113を有する。補強フレーム38はインナーケース本体11に当接しており、角状フレーム36を位置決めするために用いられるとともに、インナーケース本体11の構造強度を向上させることができる。また、角状フレーム36をサンドイッチパッド112の溝部113内に隠れて埋設することにより、角状フレーム36の変位を避けることができ、且つ、サンドイッチパッド112を設けることにより、平坦な載置面114を形成できる。

【0021】

30

上述したように、本発明はロック構造を有するカートンを提供し、従来技術と比べて、本発明は少なくとも以下の利点を有する。

1. 変位部がアウターカバー本体開孔部及びインナーケース本体開孔部を通してアウターカバー本体をロックすることにより、カートンの子供安全保障用ロックを形成し、子供がカートンを任意に開放させることは避けられ、成人の使用者がカートンを開放させたい場合、変位部を内側に押して、変位部を引込み位置に引っ込めさせれば、アンロックすることができ、アウターカバー本体をインナーケース本体に対してスライドさせてカートンを開放させることができる。

【0022】

40

2. 位置が異なる2つの弾性ロック部材を設け、対応するアウターカバー本体開孔部及びインナーケース本体開孔部に対して使用することができ、これによって複数の子供安全保障用ロックを形成し、子供が任意にカートンを開放させることを避けることができる。

【符号の説明】

【0023】

10	インナーケース
11	インナーケース本体
111	取出口
112	サンドイッチパッド
113	溝部
114	載置面

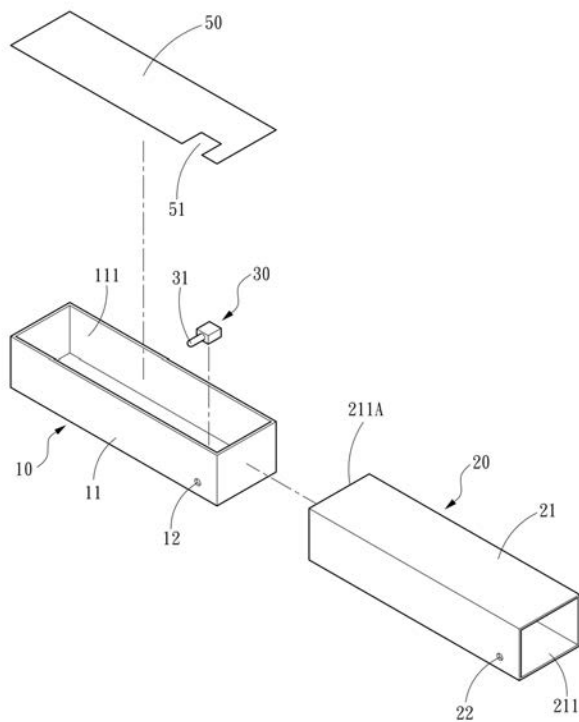
50

1 2、1 2 A	インナーケース本体開孔部
2 0	アウターカバー
2 1	アウターカバー本体
2 1 1	開口部
2 1 1 A	開口部
2 2、2 2 A	アウターカバー本体開孔部
3 0、3 0 A	弾性ロック部材
3 1、3 1 A	変位部
3 1 1	フランジ部
3 2	固定部
3 3	びばね
3 4	シート部材
3 5	U字状のシート部材
3 5 1	第一端
3 5 2、3 5 2 A	第二端
3 6	角状フレーム
3 6 1、3 6 1 A	固定柱
3 7	S字状のロッド
4 0	手
5 0	補助固定板
5 1	切込み部

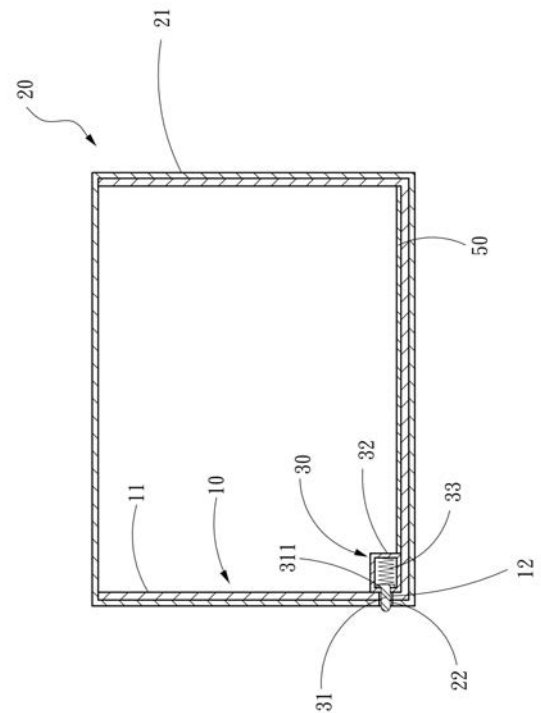
10

20

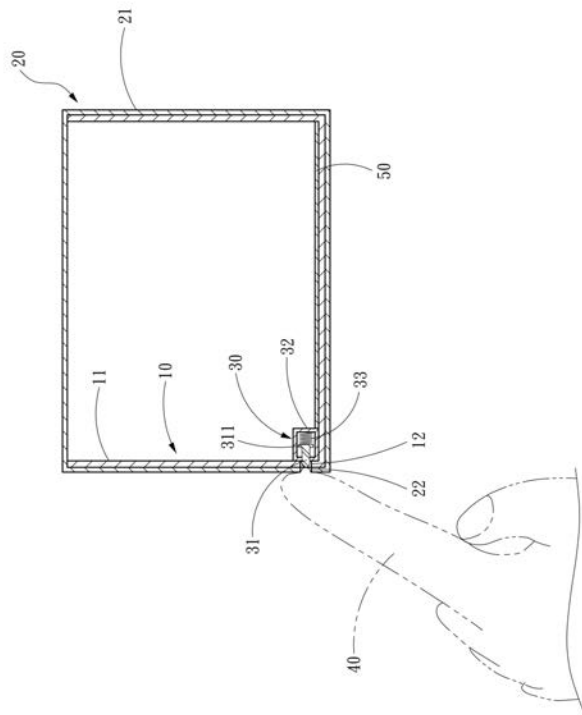
【図 1】



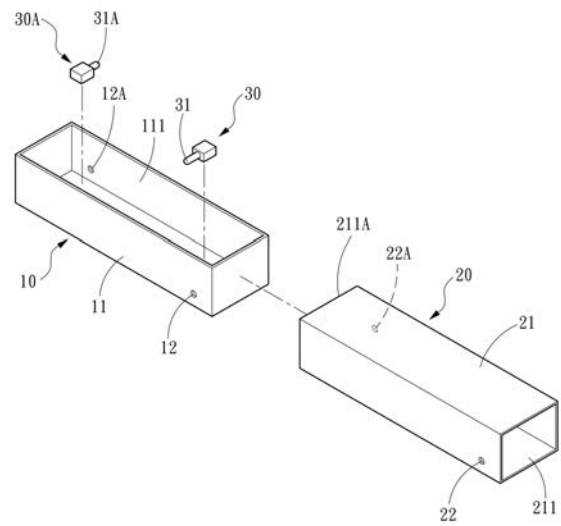
【図 2】



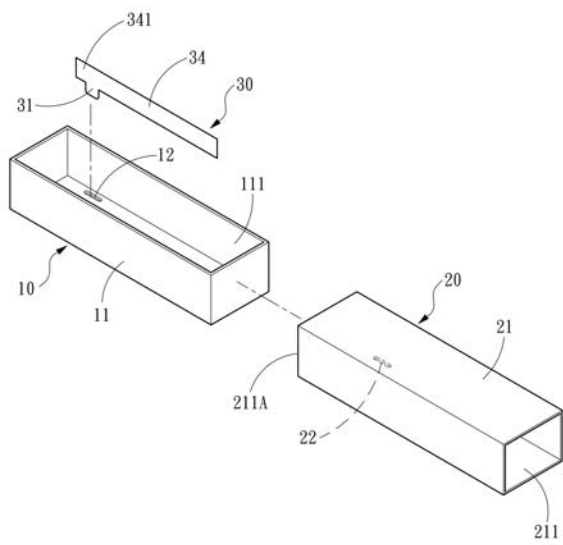
【図 3】



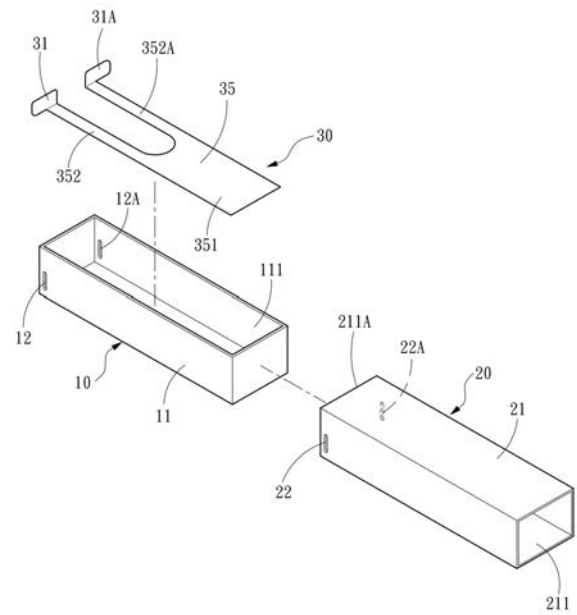
【図 4】



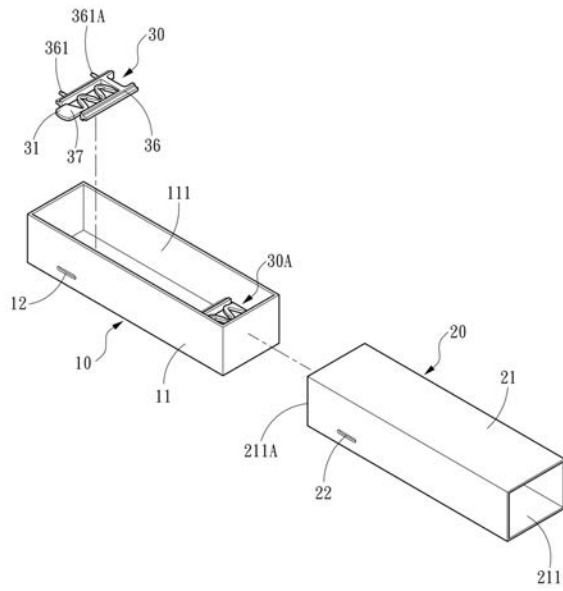
【図 5】



【図 6】



【図 7】



【図 8】

